

農試第 880-1 号  
平成 24 年 7 月 12 日

各関係機関の長 殿

福井県農業試験場長  
(公印省略)

農作物病害虫発生予察注意報第 1 号の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

連絡先 福井県農業試験場 病害虫防除室 TEL 0776-54-5100(代表) 0776-54-9315(直通) FAX 0776-54-6403 E-mail fukui_byougai@fklab.fukui.fukui.jp
---

## 平成 24 年農作物病害虫発生予察注意報第 1 号

7 月上旬の斑点米カメムシ類の水田周辺雑草地における生息数は平年並みであるが、平年より早く水田内への侵入も確認されており、今後もカメムシ類の発育に好適な気象が続くと予想され、斑点米が多発生する恐れがある。このことから、斑点米カメムシ類の徹底した防除を強く喚起するため、注意報を発表する。

病害虫名 斑点米カメムシ類

### 1 注意報の内容

発生時期：成虫の本田侵入最盛期は 7 月 5 半旬

被害程度：少発、局多発

発生量：平年、前年より多い

### 2 注意報発令の根拠

(1) 県内 30 地点における水田周辺雑草地でのすくいとり調査 (50 回振り) では、アカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメ等が、18.4 頭で、平年 (18.1 頭) 並み、前年 (13.3 頭) より多い発生量となっている。

(2) 7 月の気温は高く、降水量は少なく、日照時間も多く、今後もこのようなカメムシ類の発育、水田内への侵入に好適な気象条件が続く予想である。

(3) アカスジカスミカメやアカヒゲホソミドリカスミカメなどカスミカメムシ類の第 2 世代成虫の発生最盛期は平年並みの 7 月 5 半旬頃と思われ、早生の出穂揃～穂揃期と一致すると予想される。

### 3 防除対策

- (1) 出穂期頃の草刈りはカメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。
- (2) 水田内の雑草が多い場合は、カメムシ類の水田内への侵入を助長し、発生量が多くなるので防除を徹底する。
- (3) オオムギ跡の雑草では、斑点米カメムシ類の発生量が多いため、隣接している水田では、防除を徹底する。

#### 《粉・液剤での防除》

- (1) 穂揃期～乳熟期（出穂3～5日後頃）と糊熟初期（出穂10～14日後頃）の2回薬剤散布を行う。
- (2) カメムシ類は、水田の周縁部に多く発生するので、本田防除の際には、畦畔も含めて防除する。  
また、カメムシ類は、日中はあまり活動しないため、夕方か早朝に薬剤散布を行う。

#### 《粒剤での防除》

- (1) 粒剤での防除は、薬剤によって散布時期が異なるので注意する。
- (2) 散布時は水深3cm程度の湛水状態とし、3～4日湛水した後、自然落水する。

#### 《追加防除》

斑点米産出能力の高いホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシなどの発生が多い場合や、水田内の雑草の発生が多くカメムシ類の発生が多い圃場では、追加防除を行う。

#### ◎ 収穫7日前まで使用できる薬剤

エルサンバッサ粉剤20DL

トレボン粉剤DL

MR. ジョーカー粉剤DL

スタークル粉剤DL

アルバリン粉剤DL

ダントツH粉剤DL

#### ◎ 防除対策の詳細は、平成24年度福井県農作物病虫害防除指針 p27～32 参照。